中央区文化･国際交流振興協会だより

Chuo Cultural And International Exchange Association



「日本橋界隈日本橋特別出張所」（1989 年）小川幸治　　中央区立郷土天文館所蔵

● 特集 ●

クァルテットを聴いてみよう

「古典四重奏団」チェロ奏者　田崎　瑞博

- 平成 24 年度の事業計画と予算
- 中央区　ひと　粋・活き　　アートはるみ　みんなの広場実行委員会
- 中央区まるごとミュージアム

No.57 July 2012

中央区文化･国際交流振興協会発行

クァルテットを聴いてみよう

「古典四重奏団」チェロ奏者
田崎　瑞博



晴海トリトンスクエアの第一生命ホールで演奏する古典四重奏団。
多数のお客様がご来場、熱心に聴き入る。(C) 大窪道治



「ハイドン・セット」のモーツァルト自筆楽譜。
モーツァルトには大変めずらしく、書き直しが見える。
(The British Library 1985 年)

古典四重奏団　Quartetto Classico　プロフィール

86 年東京芸術大学及び同大学院卒業生により結成。レパートリーは 80 数曲にのぼり、そのすべてを暗譜で演奏。『SQW シリーズ』(第一生命ホール)『ムズカシイはおもしろい!』など 4 つの定期公演を継続中。「村松賞」「文化庁芸術祭大賞」「同優秀賞」各受賞。S・ライヒと共演。ギリシア・ドイツ公演。ベートーヴェン後期、モーツァルト『ハイドンセット』、バルトーク全曲など 11 枚の CD をリリース。古典四重奏団 HP http://www.gregorio.jp/qc/

「え、コンサート？　クラシックの？　ゲンガクシジュウソウ？　それはちょっと遠慮します・・」

ただでさえ敷居の高いクラシックの中でも「弦楽四重奏（クァルテット）」は際だって難しそうです。オペラのように舞台装置や照明の効果もなく、オーケストラのようにいろいろな楽器が登場するわけでもなく、なにより話のすじが見えません。弦楽器が四つしかないし、どちらかというとひそやかに控えめに演奏され、わかりやすい表題すらろくに付いていなくて、長い作品だと 4・50 分も黙々と弾き続けているだけ。

「音楽って音を楽しむものなのに、まるで楽しめなさそう」

という声が聞こえてきそうです。

しかし、一見難解で複雑なのには、そうであるべき理由がきちんとあるのです。単に楽しくわかりやすいだけでは表現しきれないものとはなんなのか、またそれを伝えるためにはどのような手段が必要なのか、しばしおつきあいください。

元々クァルテットは、ちょっとした集まりで気軽に楽しく合奏をする、実に単純で平易な音楽でした。それほど腕に覚えがなくても、その場ですぐに音が出せて対話ができる、愉悦に満ちた時間が共有できる、そんなために誕生しました。その成立に大きく貢献したのがハイドンです。ハイドンは「交響曲の父」と呼ばれていますが、「弦楽四重奏の父」でもあります。ハイドンも最初の頃は、アマチュアの弾き手を想定して作曲をしていました。ところがこの四つの楽器はバランスがよく、また音楽的な可能性もどんどん広がっていったので、徐々に高度なものへと発展してゆきます。それでもまだ「気軽な楽しさ」の域は守られていました。

さて、問題はこのあとです。ハイドンの作品の素晴らしさを知って、激しく反応した作曲家がいました。ほかならぬモーツァルトその人です。モーツァルトと言えばご存じの通り、天使の歌声のように音楽が透き通っていて、だれもが口ずさめる簡単なメロディを産み出すことができる超一流作曲家です。そのモーツァルトが「自分だって、いや自分だからこそ高度な作曲技法にチャレンジしたい」と思い立ってしまったのです。彼は全力を尽くして、六つのクァルテットを創り上げ、それを尊敬するハイドンに捧げました。有名な「ハイドン・セット」(作曲 / モーツァルト) と呼ばれる作品集の完成です。これは、まさしくミューズの化身たるモーツァルトの真骨頂をあますことなく伝えると同時に、その後の弦楽四重奏曲の運命までも決定づけてしまいました。「クァルテットにおいてこそ、その作曲家の本当の力量が判明する」という恐ろしい法

則の誕生です。

モーツァルトは8才にして交響曲を、12才にしてオペラを書き、逸話によるととなりで写譜屋が書き写すよりも速く作曲していたというほどの天才です。どんな注文に対しても、やすやすと要求以上の出来映えに仕上げていた彼が、この「ハイドン・セット」に関しては下書きと推敲を重ね、格別の長い年月をかけて取り組んだのでした。当然その音楽は、「明るく楽しいモーツァルト」だけに留まらず、いくつもの線が複雑に絡み合い、内省的な趣きの深い、言ってみればらしくない作品となりました。ちらと聴いただけですといかにも私たちのよく知っているモーツァルトなのですが、よくよくその顔つきを眺めてみれば、至高の芸術を追い求める求道者のような峻厳さに驚かされるのです。

かくして「ハイドン・セット」以降すべての作曲家は、クァルテットを作曲するならば、モーツァルトと比較されることを覚悟せざるを得なくなったのです。

さらにこの法則は連鎖のパワーも発揮したために、モーツァルトの14才年下の革命児であるベートーヴェンも、この法則のとりことなってしまいました。彼は全部で17のクァルテットを遺しましたが、このうちの6曲は、有名な「第九／歓喜の歌」のあとの最晩年に作られています。

この6曲がとりわけ問題で、人気ヒットメーカーのベートーヴェンらしい雰囲気がしないのです。「田園交響曲」のように、小川のせせらぎ、小鳥のさえずりに嵐、といった描写シーンもなければ、「第九」のように、艱難辛苦を乗り越えてついに栄光をつかみ高らかに人類愛を宣言する、といった高揚感のあるストーリーが展開されるわけでもないのです。

ひとりベートーヴェンは、らしくなく、もの思いにふけり、思索の森をさまよい、静かに心の旅を楽しむのです。こうしてこれらの作品は、外見も中身も既成の音楽から大きく逸脱し、その姿に、音楽の専門家すら「難解」の称号を与える結果となってしまいました。

モーツァルトもベートーヴェンも、持てる能力の限りを尽くしてクァルテット制作に取り組みました。見方を変えれば、クァルテットという形式自体が、それを作曲家に要求したともいえます。自分の才能のすべてをさらけ出すということは、単なる「受け狙い」や「お涙頂戴」とは無縁のモチベーションにあります。まるで信仰告白のごとく、自画像を描くがごとく、内なる声に忠実に、その実現のためにありとあらゆる技法が作品に織り込まれていきます。後世の作曲家や音楽家の、厳しい感性の採点を見事にくぐり抜けた作品のみが「真のクァルテット」と呼ばれ、その作者の名は音楽史に永遠に刻まれるのです。

「やっぱりクァルテットとは到底手の付けようのないやっかいなものなんだ」

と感じられたかもしれません。しかし実際にコンサートでお聴きになると、意外なことにまったく違った印象を持たれる方が多いようです。

私たち古典四重奏団は、何度も何度も真のクァルテット作品を各地で演奏してまいりました。その時々にお客様からいただく感想から、おもしろい事実がわかってきました。これらのやっかいものを初めて耳にしたにもかかわらず、すぐに敏感に反応される方は、クラシック音楽に精通しているかどうかにあまり左右されないようなのです。音楽愛好家の方でも敬遠される向きのあるクァルテット作品ですが、その特異さゆえに逆に確固たる普遍性を保っていると言えるのかも知れません。音楽の予備知識がまったくなくても、すっと傍らに寄り添ってくれる音楽――それがクァルテットなのです。

クァルテット作品を「自画像」とするならば、その作曲家の心の底からのメッセージはその音楽に滲んでいるはずです。その切実さが、どうしても耳を傾けざるを得ないほどのエネルギーに変換され、私たちの心を捉えて離さないのではないか、そう思えるのです。モーツァルトもベートーヴェンも、その波乱に満ちた人生の中で、人に伝えきれないたくさんの想いを自身の心のひだにしまい込んできたのではないでしょうか。それをクァルテットの楽譜という一種の記号に託し、空間に解き放たれる芸術に昇華させ得た奇蹟に、私たちはただただ憧れと尊敬の念をもって感謝するのみなのです。



文化講座で演奏する古典四重奏団。
プラカードを使って、難解な作品を楽しく解説。
（逆さまの「テーマ」は、逆さまに表示！）

平成 24 年度の事業計画と予算の概要をお知らせします。
事業内容の詳細が決定していない事業については、決まり次第協会のホームページや区のお知らせに掲載いたします。

平成 24 年度事業計画

文化振興事業

1　機関誌発行・ホームページの更新

「中央区文化・国際交流振興協会だより」を発行するとともに、ホームページを更新し、協会の事業紹介や最新のイベント情報をお知らせします。

情報誌

部　　数：5,500 部　A4 版
発行回数：年 2 回発行（7 月 − 57 号　12 月 − 58 号）

ホームページ

ＵＲＬ：http://www.chuo-ci.jp/

2　芸術・文化の普及

（1）コンサート　～区民に親しみやすい音楽鑑賞の機会を提供します～

日　時：平成24年10月5日(金)午後6時40分開演
場　所：日本橋公会堂「日本橋劇場」
内　容：前田憲男＆ウィンドブレーカーズ
　　ゲスト：雪村いづみ
参加費：1,500 円
定　員：420 名
詳　細：追ってお知らせします。



平成 23 年度コンサート

（2）文化講座

各種文化、歴史等について、専門家の講話を聞きその理解を深める機会です。今年度は「平家物語」をテーマに、琵琶の調べや語り芝居で物語の世界を味わう講座を開催します。

第一部
　日　時：平成 24 年 9 月 7 日（金）
　　昼の回　午後 2 時～ 3 時 30 分
　　夜の回　午後 6 時 30 分～ 8 時
　内　容：講義「平家物語における平清盛の役割」
　　－映像上映・琵琶演奏－
　講　師：橘　幸治郎、琵琶　岩佐鶴丈
第二部
　日　時：平成 24 年 9 月 14 日（金）
　　昼の回　午後 2 時～ 3 時 30 分
　　夜の回　午後 6 時 30 分～ 8 時
　内　容：「語り芝居と琵琶演奏で楽しむ平家物語」
　講　師：橘　幸治郎、演じ語り　岡橋和彦、
　　琵琶　岩佐鶴丈、尺八・笛　設楽瞬山
場　所：日本橋社会教育会館 8 階ホール
定　員：各回 200 名



平成 23 年度文化講座

（3）特別文化講演会　～各展覧会にあわせ、NHK との共催で開催（年 3 回程度）します～

なお、講演会参加者には展覧会の招待券を、お一人様一枚差し上げます。

①大英博物館　古代エジプト展
日　時：平成 24 年 7 月 12 日（木）午後 7 時開演
場　所：日本橋公会堂「日本橋劇場」
講　師：古代エジプト壁画研究家（古代オリエント博物館自由学校講師）村治笙子
参加費：無料
定　員：420 名

（4）古典芸能鑑賞会　～中央区に深い関わりをもつ舞踊、長唄などの古典芸能を鑑賞する機会です～

中央区を中心に活躍されている古典芸能実演家を構成員とする「中央区古典芸能の会」に企画・制作をお願いしています。

日　時：平成 24 年 6 月 16 日（土）午後 5 時開演
場　所：日本橋公会堂「日本橋劇場」
内　容：講話、紙切り、落語、長唄、舞踊・清元
参加費：2,000 円（中学生以下は 1,000 円）
定　員：440 名



平成 23 年度古典芸能鑑賞会

（5）文化推進事業助成

協会の目的とする事業を推進するため、区民が主体となって行う文化振興事業の後援及び事業実施に要する経費の一部を助成します。

助成件数：15 件
助成金額：事業に要する経費の 1/2 で 10 万円が限度

（6）中央区まるごとミュージアムの開催
区民や区外参加者の方々が区内をバスや船で回遊しながら、民間の文化事業を含む区内のさまざまな文化的な魅力を楽しみ享受できる文化イベント（第５回）を中央区との共催で開催します。
開催日：平成 24 年 11 月 4 日（日）
詳　細：8 頁参照

（7）文化振興プロデュースチーム
「中央区文化振興プラン」の提言を受け、区民（企業、NPO 等を含む）の自主的な文化活動の推進・拡大を図るため、平成 20 年度に文化の専門家からなるプロデュースチームを設置しました。今後も、具体的な文化事業の企画・立案、文化ボランティアの育成等について検討を進めます。
構成員：6 名

国際交流振興事業

（1）国際交流のつどい
外国人と日本人との文化交流の促進と相互理解を深めるため、年に 1 度開催しています。
日　時：平成 24 年 11 月 17 日（土）正午～午後 4 時
場　所：築地社会教育会館

(1) INTERNATIONAL EXCHANGE PARTY
This event is to be held once a year to promote cultural exchange as well as deepen mutual understanding between Japanese and foreign residents.
Date & Time: Sat, November 17, 2012　12:00 – 16:00
Place: Tsukiji Social Education Center
Fee: Free



平成 23 年度国際交流のつどい

（2）ボランティア活動支援
協会登録ボランティアの活動を支援するため、講習会の開催や連絡会議などを開催します。
ボランティアの種類（③、④は原則としてそれぞれの事業で対応）
①通訳・翻訳ボランティア
②イベントスタッフボランティア
③日本語ボランティア
④国際交流サロンボランティア
⑤ホームステイ・ホームビジットボランティア
⑥防災語学ボランティア
講習会：年 2 回

（3）姉妹都市親善写真展
姉妹都市であるオーストラリア・サザランド市との交流・親善を一層深めるため、お互いの生活や風景、行事等を紹介する写真を相互に交換し、親善写真展を開催します。
日　時：平成 25 年 2 月予定
場　所：3 箇所で展示（区役所、日本橋区民センター、月島区民センター　各 1 階）

（4）日本語教室
日本語でコミュニケーションをとることが困難な区内在住・在勤の外国人を支援するため、日本語教室を開設しています。また、教室参加希望者の増加や多様化する要望に対応するため、ボランティア主催による教室の支援も行っています。

［協会主催の日本語教室］

教室	水曜日教室	木曜日教室	土曜日教室
日時	第 1、第 2、第 3 水曜日	第 1、第 2、第 3 木曜日	第 2、第 3、第 4 土曜日
時間	午後 6 時 30 分から 8 時	午前 10 時～ 11 時 45 分	午前 10 時～ 12 時
場所	女性センター（プーケ 21）	協会講習室	協会講習室

［協会が支援する日本語教室］

教室	日本語おたすけたい	月島日本語倶楽部	日本語コミュニケーション・パートナー
日時	月曜日（月 3 回）	毎週火曜日	第 1、第 2、第 3 火曜日
時間	午後 7 時から 8 時 30 分	午前 10 時から 12 時	午後 7 時から 8 時 30 分
場所	日本橋社会教育会館	月島社会教育会館	新富区民館
教室	銀座日本語教室	にほんご生活	
日時	第 1、第 2、第 3 水曜日	毎週土曜日	
時間	午前 10 時から 11 時 30 分	午後 2 時から 3 時 45 分	
場所	築地社会教育会館	レインボーハウス明石	

JAPANESE LANGUAGE CLASSES
Chuo Cultural and International Exchange Association (CCIEA) offers Japanese Language classes by volunteer teachers. Besides, we sponsor the classes which are hosted by volunteers in order to meet various demands of increasing students.

I Japanese Classes that we host:

Class	Wednesday Class	Thursday Class	Saturday Class
Schedule	Every 1st, 2nd & 3rd Wednesday	Every 1st, 2nd & 3rd Thursday	Every 2nd, 3rd & 4th Saturday
Time	18:30~20:00	10:00~11:45	10:00~12:00
Place	Chuo-ku Women's Center "Bouquet 21", 4th fl. Work room, (1-1-1 Minato, Chuo-ku, Tokyo)	CCIEA Office 3rd fl. Lecture Room, (1-13-24 Shintomi, Chuo-ku, Tokyo)	CCIEA Office 3rd fl. Lecture Room, (1-13-24 Shintomi, Chuo-ku, Tokyo)
Fee	Fee About ¥2,500 (no fee for the lesson, only for the textbook)		


日本語教室

II Other Japanese Classes that we sponsor:

Class	Nihongo Otasuketai	Tsukishima Nihongo Club	Partners of NIHONGO Communication
Schedule	Monday (3 times per month)	Every Tuesday	Every 1st,2nd& 3rd Tuesday
Time	19:00~20:30	10:00~12:00	19:00~20:30
Place	Nihonbashi Social Education Center, (Nihonbashi Elementary School Complex Facility 7th-9thfl.,1-1-17 Nihonbashi-ningyocho Chuo-ku, Tokyo)	Tsukishima Social Education Center, (Tsukishima Community Center 4th and 5th fl., 4-1-1 Tsukishima, Chuo-ku, Tokyo)	Shintomi Community Hall (1-13-24 Shintomi, Chuo-ku, Tokyo)
Class	Ginza Japanese Language Class	Nihongo Seikatsu	
Schedule	Every 1st,2nd& 3rd Wednesday	Every Saturday	
Time	10:00~11:30	14:00~15:45	
Place	Tsukiji Social Education Center, (4-15-1 Tsukiji Chuo-ku, Tokyo)	Rainbow House Akashi (1-6 Akashicho, Chuo-ku, Tokyo)	
Fee	Fees differ depending on the class.		

（5）国際交流サロン

外国人と日本人が気軽に交流が出来る場を提供します。ボランティアによる企画・運営により懇談、料理教室、七夕、等を実施しています。

実施日：4月21日、5月19日、6月23日、7月14日、8月25日、9月15日、10月20日、12月15日、25年1月19日、2月16日、3月16日

場　所：協会講習室　等

INTERNATIONAL EXCHANGE SALON

In this salon, both Japanese and non-Japanese residents can enjoy free and open communication with each other. For the people who want to make a lot of friends and who want to enjoy conversation in Japanese and experience of Japanese culture, various events such as Tanabata, cooking, etc. are scheduled to take place. Why don't you come and join us?

Date: Apr. 21, May 19, Jun. 23, Jul. 14, Aug. 25, Sep, 15, Oct. 20, Dec. 15, Jan. 19, 2013, Feb. 16, 2013, and Mar. 16, 2013.

Time: Basically 13:30 p.m.~15:30p.m. (varies depending on the events)

Place: Lecture Room of CCIEA Office

Fee: Free

For more information, contact CCIEA.



（6）外国客船歓迎式

東京港晴海埠頭に着岸する外国客船の入港時の歓迎行事に参加し、記念品の贈呈を行っています。

（7）国際交流推進事業助成

協会の目的とする事業を推進するため、区民が主体となって行う国際交流推進事業の後援及び事業の実施に要する経費の一部を助成します。

助成件数：4 件

助成金額：事業に要する経費の 1/2 で 10 万円が限度

（8）日本語指導者養成講座

区内在住・在勤の外国人に対し日本語を教えるボランティアを養成するために開催します。

日　時：7 月 11 日、14 日、21 日、25 日、8 月 1 日、8 日、9 月 1 日　計 7 日間　計 20 時間

場　所：協会講習室または新富区民館

講　師：明海大学外国語学部　講師　西川寛之

定　員：30 名

（9）日本語フォローアップ講座

外国人に日本語を教えるボランティアの指導力を高めるため、フォローアップ講座及びステップアップ講座を開催します。

平成 24 年度予算

＜収入＞

科　目	予算額（円）	説　明
事業収入	1,204,000	コンサート、古典芸能鑑賞会参加費等
区補助金	88,358,000	区からの補助金
寄付金	1,000	
雑入	30,000	預金利子
収入合計	89,593,000	

＜支出＞

科　目	予算額（円）	説　明
事業費	49,750,000	
文化振興費	43,937,000	文化振興事業に要する経費
国際交流振興費	5,813,000	国際交流振興事業に要する経費
管理費	38,843,000	
人件費	34,719,000	職員の給与に関する経費
管理運営費	4,124,000	理事会、事務費等
予備費	1,000,000	
支出合計	89,593,000	

シリーズで、文化振興・国際交流の推進に活躍している方や団体をご紹介します。

アートはるみ みんなの広場実行委員会

絵本や音楽のイベントで子どもたちの感性を育成 地域のつながりも深まります



中央区の文化振興プランの一つである“まるごとミュージアム”で毎年、子どもと大人が一緒に楽しめる空間をアートはるみに創っている「アートはるみ みんなの広場実行委員会」。設立された経緯や活動目的について、実行委員の方々にお話を伺いました。

「アートはるみ みんなの広場実行委員会」はどのような経緯で結成されたのでしょうか？

委員会の形になったのは昨年からですが、子どもたちに向けた活動は一昨年から始めていました。きっかけは区民カレッジ。そこで「絵本の展覧会を創ろう」という主旨の講座があったんです。講座に参加した方々、そして中央区のいろいろなボランティア団体で活動している方々にも声をかけて、みんなで展覧会を創ろうということになりました。子どもたちに絵本の世界や異文化を体験してもらいたい、伝えていきたいということで、絵本や音楽を通して子どもたちの感性を育てる展覧会やイベント、ワークショップを企画することになりました。

これまで実施されたイベントのテーマや内容は？

「アートはるみ」で私たちが初めて実施したのが、2010年に行った“絵本で楽しむ展覧会 アジア、アフリカから聞こえてくるよ”です。北緯38度線を旅する絵本の原画やアフリカの子どもの本の展示、講演やおはなし会、またアフリカンアートで表札を作ったり、民族衣装を着てダンスをしたり、手作りの太鼓で音遊びをしたり、1週間の開催でした。

昨年のまるごとミュージアムでは、“絵本で音楽で元気になろう～東日本の子どもたちとつながって～”というテーマでイベントを行いました。開催は2日間だったのですが、絵本原画展や東北の被災地の子どもたちが書いたハガキのメッセージ展、古代文字の体験や浄瑠璃など、五感で楽しめる多彩な内容を企画。お母さんに連れられた小さなお子さんからお年寄りまで、幅広い世代の方々が来場され、時間を忘れて展示物の観覧やイベントに参加されていました。

イベントの企画・運営にはどんな団体が参加されているのですか？

2010年は9団体、2011年は8団体に参加していただきました。子育てに関わる団体や、読み聞かせをしている団体、小学校のPTAの有志など、普段はそれぞれ別の活動をしている団体の方々です。他に個人の方も。みなさん、「子どもたちのために何かできないか」と志が高く、行動力も高い。率先して企画を出したり、会場作りをしてくださるので、とても心強いです。

この委員会の活動はイベントを見る人たちだけではなく、やっている側も大いにプラスになります。多くの団体が集まることでお互い刺激になるし、コミュニケーションも広がります。今年はどんな企画が飛び出すか？これからみんなで話し合います。参加したい方を募集中です。

●プロフィール

中央区立月島社会教育会館・晴海分館である「アートはるみ」を会場に、2010年から中央区の文化振興イベント“中央区まるごとミュージアム”で、展示やワークショップなどのイベントを行っている。子どもと大人が一緒に楽しめる多彩な企画を、地域のボランティア団体やPTA有志、音楽関連の団体などと協力し、中央区地域家庭教育推進協議会と共催で実施。今年のイベント開催は、11月3日､4日の2日間を予定している。問合せは、地域家庭教育推進協議会事務局（tel. 3546-5526）


アフリカンドレスを着て、西アフリカのサバールダンス


自分たちで作った楽器でリズムアンサンブル


お父さんも飛び入りで、読み聞かせをしました。


『だいじょうぶ だいじょうぶ』の原画と被災地のこども達が描いた布絵など


「古代文字を書こう！」のコーナーがにぎわいました


大人も子どもも熱心に聴き入りました。
創作浄瑠璃「泣いた赤鬼」

中央区 まるごとミュージアム

日時 平成24年11月4日（日）
概ね9：00~17：00

主催 中央区、中央区文化・国際交流振興協会

会場 中央区全域



中央区のさまざまな文化的な魅力を体験していただける、第５回「中央区まるごとミュージアム」を開催します。

本年も、名所・旧跡を巡るまち歩きや美術館・画廊での美術鑑賞、文化団体等による作品展など各種のイベントが行われますので、ぜひ、区民の皆様を始め大勢の方々に文化芸術の秋、中央区の文化的な魅力をお楽しみください。

ここでは、昨年実施された文化事業をご紹介いたします。

●銀座・築地地区
- ●まち歩き　銀座　隅田川
- ●アフタヌーン・ギャラリーズ by 画廊の夜会
- ●銀座あおぞら DE アート　●銀座将棋まつり
- ●銀茶会　●銀座奥野ビル 306 号室プロジェクト企画展
- ●郷土天文館「タイムドーム明石」開催イベント
- ●子どものための三味線教室「ミニ発表会」
- ●つきじＴＡＳＳぎゃらり ～若松屋「くらしを楽しむ手しごと展」
- ●中央区民文化祭　築地社会教育会館作品展
- ●バリアレス・ハートギャラリー　ドキ！ほっ！あったかーい！
- ●新富座こども歌舞伎

●日本橋・京橋地区
- ●まち歩き　日本橋　●にちぎん体験２０１１
- ●美術展鑑賞会（ブリヂストン美術館・三井記念美術館）
- ●人力車体験　●日本橋架橋百年祭
- ●第 39 回日本橋・京橋まつり「大江戸活粋パレード」
- ●粋だね市　●第４回　日本橋美人博覧会
- ●薬研堀講談の会
- ●TOKYO KIMONO WEEK 2011 ～きもの・和・日本橋～
- ●Central East Tokyo「ふらっと“セントラルイースト東京”の旅」
- ●第 63 回中央区民文化祭いけばな展・茶の湯会
- ●トルナーレライブコンサート
- ●みんな集まれ！大道芸チャレンジ広場@箱崎公園
- ●水天宮ピット稽古場見学　●凧の博物館　特別無料開放

●晴海・月島地区
- ●まち歩き　佃
- ●リリ・レイが贈る「パリの香り」フランス原語で聞けるシャンソン
- ●晴海フラワーフェスティバル 2011
- ●絵本で、音楽で、元気になろう！～東日本の子どもたちとつながって～
- ●晴海客船ターミナルイベント　●日本の凧の会　秋季大会

表紙　旧日本橋特別出張所　小川幸治

隅田川に近い日本橋蛎殻町は住宅地で、もの作りの職人の住む町でもある。銅張り職人、和服のシミ抜き、押絵職人、表具師。
木立に埋もれそうな家がある。玄関先には植木鉢と小さな石灯籠を配し、和歌をよむ役所勤めの趣味人が住む。
外壁に銅板の張られた商家や瓦屋根、トタン屋根の家並みの中に、柔らかなカーブを描く出張所のモダンな建物が溶け込んでいた。

特集記事は「クァルテットを聴いてみよう」です。昨年度の文化講座で行いました「クラシックはじめの一歩～クァルテット」に関連して特集いたします。「ひと　粋・活き」では、「アートはるみ　みんなの広場実行委員会」の活動についてお話をお聞きしました。
「中央区まるごとミュージアム2012」は第５回目になります、本年もたくさんの方々の参加をお待ちしております。

役員名簿（平成２４年６月１５日理事会　一部改選）

理事長	古屋　勝彦	東京商工会議所中央支部顧問
副理事長	小泉　典久	中央区副区長
理　事	細田安兵衛	中央区観光協会副会長
〃	重盛　永造	中央区商店街連合会会長
〃	水野　雅生	中央区工業団体連合会会長
〃	三田　芳裕	元中央区文化振興懇談会副座長
〃	小川　文男	東京日本橋東ロータリークラブ会長
〃	小林　淑郎	東京銀座ライオンズクラブ元会長
〃	油矢　博	京橋地域町会連合会会長（改選）
〃	安西　暉之	日本橋地域町会連合会会長（改選）
〃	沖　義康	月島地域町会連合会会長
〃	小畑　栄三	中央区文化連盟会長
〃	百瀬　修至	中央区体育協会理事長
〃	清水　学	中央区ＰＴＡ連合会会長（改選）
〃	伊賀　正昭	東京青年会議所中央区委員会委員長（改選）
〃	齊藤　進	中央区教育長
〃	中島　毅	中央区企画部長（改選）
〃	浅沼孝一郎	中央区区民部長（改選）
監　事	神谷　聖子	中央区女性海外研修者の会元会長（改選）
〃	平沢　康裕	中央区会計管理者（改選）

発行／中央区文化・国際交流振興協会　〒104-0041 東京都中央区新富1-13-24 新富分庁舎3F　TEL 03-3297-0251 FAX 03-3297-0253 URL: http://www.chuo-ci.jp/